

真庭市北房にて外国人 ALT 向けのモニターツアーを実施

真庭市北房地区にて、AZAE プロジェクトの一環として外国人 ALT（英語補助教員）向けのモニターツアーを実施しました。国籍がそれぞれ違う 8 名の外国人が、日本の農村や寺院の体験、北房お大師巡りなどを体験しました。実施に当たり、サポートスタッフとして岡山商科大学の学生が付き、どのような反応をしていたか、どこで戸惑っていたかなどを観察調査していきました。

1. モニターツアーの概要

(1) 開催日時

平成 30 年 12 月 1 日（土曜日）～ 2 日（日曜日）

(2) 場所

真庭市北房地区

(3) 参加者

ALT の外国人 8 名
岡山商科大学学生 3 名（スタッフとして）

2. 体験内容

(1 日目)

- ・ 善徳寺にてお寺修行体験（瞑想、写経、護摩焚き）
- ・ 無農薬野菜収穫体験
- ・ 中津井陣屋にて地元のお母さんたちと田舎ご飯作り（天ぷら・羽釜ご飯）
- ・ 囲炉裏を囲んで夕食

(2 日目)

- ・ 北房御大師巡り
 - ① 塩川の泉
 - ② 身代わり観音
 - ③ 蟹川修験堂（ホラ貝を吹く体験）
 - ④ 井弥の穴
 - ⑤ 毘沙門堂
- ・ ホタルうどんの実食



善徳寺にて瞑想中

3. 学生の感想（一部抜粋）

モニターツアーでサポートスタッフをしていた、岡山商科大学の学生の感想を以下に一部取り上げています。

- ・ 日本に住んで、日本で働いておられる方ばかりだったため、通訳などがあまり必要に感じませんでした。しかし、インバウンドという大きな枠組みで見ると、瞑想やお大師巡りの意味を表現して理解してもらうのは、非常に難しいように思えました。意味についての理解を求めるのは次回で、まずはコンテンツ単体として充実して楽しいと思ってもらえるように企画していくべきだと感じました。

作成：2019年度 農政局インターンシップ 参加学生（岡山商科大学）